（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所　そだち園			
○保護者評価実施期間	R7年１０月１日	～	R7年１２月２５日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	13	（回答者数）	12
○従業者評価実施期間	R7年１０月１日	～	R8年1月１０日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月２３日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子登園を通して子どもの安心安全の感覚をもちやすい	・親子で過ごすことで、子どもの状況を一緒に確認することができ、成長も一緒に喜ぶことができる。その都度アドバイスしている。 ・保護者が登園しやすく、楽しみにできるような雰囲気づくり ・職員との話がしやすい	・保護者同士の情報共有できる場をさらに提供していきたい
2	集団の中での個別性に対応する職員体制の充実	・子どもの対する職員体制については、２対１の体制が維持できるように取り組んでいる。	・各職員のスキルアップを図っていく。
3	各種専門職による相談支援を行っている	・専門職との個別面談を通して、子どもの理解及び保護者の役割の理解を深めて いけるようにしている。	・回数及び時間がさらに多くもてるようにしていく必要がある。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が老朽化してきている	・子どもがのびのびと過ごす中で、壊してしまうことがあっても危険がない限りは制止せず、見守っている。	・老朽化した中でも安全に使えるよう常に保守点検を行っている。
2	園庭がないこと	・事業所内に園庭がないため、近くの公園を利用している。 ・小さな裏庭で、活動できる行事は行っている。	・小さな裏庭や公園を最大限に活用する。
3	部屋数や設備の足りなさ	・元々が事業所として作られた建物ではないため、様々な問題がある。	・設備等はできるだけ、新しくしていくと共に、工夫して活用していくことが必要。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	そだち園

公表日　令和８　年　1月　２３日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		その場に応じて遊具を出している。遊具は季節に応じて入れ替えている。	物の置き場に困っている。収納のあり方を検討する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			１対１対応児が多いので、ボランティアさんも来てくれることがあり、助かっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		各部屋（支度・活動・給食・相談（検査））の使い分けがきちんとされている。床面はフラット。角コーナー済。滑り止めマットの活	収納のあり方を更に検討していく。また感染予防として加湿や喚起を徹底している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		子どもの活動に合わせた空間作りをしている。また、全部屋に空気清浄機（加湿器）を設置している。	老朽化が目立ってきたが、日々消毒や安全確認をしながら子どもにあった環境を考えている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	8		集団活動の部屋と個別指導の部屋があり、定期的に個別指導で使用している。	個別指導は定期的に行っている。また、子どもからの要望があれば、その都度対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		ミーティングを行っている。このほか月３～４回の会議を行っている。	よりスムーズに活動ができるよう、前日に次の日の予定や役割分担等の確認を行っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		29年度より保護者評価を実施している。このことにより業務改善につなげている。	日中の活動の中でてきた意見などを職員間で共有し、業務改善につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		H29度より事業所評価の取り組みを開始したので、今後も継続していく。	ホームページ以外の通信等を使った周知の仕方を検討していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		外部評価に代わって専門職（家）に普段の様子を見てもらい講評を受けている。	第三者評価に代わるものとして専門職の参加をお願いしている。今後ともより充実できるよう配慮していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		H29年度より法人内研修を行っている。月１回の園内研修と外部研修などの機会を設けている。昨年度より委員会が発足した。	個人の研修については自主的に受けていくことが目標。また、虐待研修など職員全体周知の研修に関してはサポカレを活用している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		発達検査及び日々の状況の記録、及び保護者からの聞き取りをベースにして計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		年間保育計画と個別支援計画の並行性を図りながら支援を行っている。	支援計画に沿って実施できるような計画内容及び項目になるよう更に検討していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		検査（太田ステージ・新版K式・田中ビネー・感覚プロファイル・KIDS）等を行い、各年度１回心理士、保護者と確認を行ってる。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインに基づき７領域（生活・運動・認知適応・言語社会・家族支援・地域、保護者連携）で支援計画を作成している。太田ステージ検査の結果を反映させ、具体的な到達目標・方針を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		保育計画・反省会議、指導会議（行事計画）等で話し合いがされている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		年間保育計画に基づいたプログラムを作成している。今後とも季節感・興味・関心が出る活動をしていく	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		一人ひとりの違いに応じて、柔軟に計画を作成している。	定期的に個別指導の時間を設け、子どもの状況を確認している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		打ち合わせや、ホワイトボード等にて常に確認できるようにしている。	ボードは職員以外にも保護者も見られるようになっている。また、子どもには絵カード等で活動の流れが分かるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		毎日ミーティングを行い、情報交換及び振り返りと改善点についての話し合いをしている。	日誌記入事項を中心にミーティングをしている。特にヒヤリハットについては全職員の周知を徹底している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		全体の保育（業務）日誌及び毎日の個別記録、月のまとめ（要点記入）を行う事で業務改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		保育計画・反省会議（月１）ではその都度気になる園児対象で行い、全体では１０月に中間評価を実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		必要に応じて担当職員が出席するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		子育て相談課、障害福祉課等かかわりのある課所との連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		必要に応じて随時。	当園としては希望しているが、先方の都合によることが多いため、実施が困難になる傾向がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		毎年引継ぎを行っている。	支援級においては当園としては希望しているが、先方の都合によることが多いため、実施が困難になる傾向がある。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	8		必要に応じて連携しながら指導助言を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		R01年度より近くの保育園との年長児を対象とした交流を設けた。また、夏休み等は兄弟の参加を可能とし、交流の機会を設けてい	保育所より毎年夏祭りへのお誘いがあり、参加させてもらっている。今後も交流の場を増やしていきたい。兄弟にも保育参加をしても
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		母子登園制のため、日常的に同じ場面を見ることで共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		月１回保護者会学習会を実施している。学習会では子ども理解を中心に具体的な内容で行っている。又、専門職により講話も行う。	OB保護者による講話もあり、卒園後の具体的な話を聞く良い機会なので続けたい。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		見学時、入園・進級式（同日）に説明を行っている。玄関に運営規程をファイルで掲示している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	8		支援計画作成前に事前に子どもの状況や希望などを記入してもらう書類があり、それをもとに作成し、説明をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		前期・後期と２回あり、年長児については終結という形で３回行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		職員及び専門職により個別面談を定期的に行うと共に、卒園した保護者からの相談（メール・面談）にも対応している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		月一回保護者会を開催している（園長参加）。また、母子登園の日の昼食は母たちだけでとってもらっている。行事等には兄弟の参加も可能としている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		母子登園制の中で日常的に話し合う機会がある。又、必要があれば、適時面談を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		保育計画及び日々の活動予定表を配布及び年４～５回園だよりを配布（主に行事報告掲載）又、保護者会でも情報を発信している。	さらに情報の周知を図るため、SNS（LINE等）の使用を進めていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		法人の個人情報取り扱い規程に準じている。又、毎年進路希望調書を提出してもらう際に個人情報取り扱いの承諾をもらっている。	顔写真等については写真掲載承諾書を含めて承諾を得ているが、今後さらに内容の検討をしていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		園児については絵カードや音楽などを活用している。保護者とはSNSやTEL、登園時に直接伝えるなどして様々な方法を活用してい	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		近隣の方には行事前に挨拶をしている。又、日常の場面での来園はなかなか機会がない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		必要に応じて壁に「おしらせ」として掲示し、注意喚起を促している。定期的に訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		年２回の避難訓練等を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		てんかん発作等には、入学希望調書において確認している。又、服薬に関するファイルを作成しいつでも確認できるようにしてある。	てんかんを学ぶ為にてんかんの研修を受講するようにしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8	該当なし。保護者の判断に応じて対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		日誌に項目を設け、日々の記録と合わせて、直ぐに閲覧できるようになっている。このことにより職員が情報を共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修を受け、さらに園内会議の中で研修内容を報告し、実践している。法人としても委員会があり虐待防止に努めている。	定期的に園内研修の場を設けていけるように検討していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		具体的な事例はないが、支援計画説明の際に保護者に説明するようにしている。	

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	そだち園

公表日　令和８年　１月　２３日

利用児童数　令和７年　１２月　１３日　１４名　　回収数 12名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				・子どもたちが元気に走り回っても大丈夫なくらいスペースがある。	・なるべく広さを確保できるように片付けを行っている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12				・先生方一人ひとりが、子どもたちの様子をよく見ている。 ・配置数は多く、よく見てくれている。	・人員の確保は常にしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1			・床を補正した跡や、床が濡れないようタオルを敷いた所などに時々つまずいてしまう。 ・急なスロープはあるが、それ以外はバリアフリー化されている。 ・絵を貼り視覚アピールしている。	・マット等を動かないように固定し対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				・設備は年季が入っているが、清潔に保たれている。 ・清潔にしてくれている。冬は床が冷たいのが気になる。	・椅子や座布団を使用し、寒さを軽減できるように工夫する。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				・子どもに合わせて工夫している。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	12				・プログラムに合っていると思う。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				・日々の子どもの様子や親から見た困りごとなども含めて考えている。 ・よく見てもらえている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				・今の子どもの発達段階に沿ったうえで、必要な支援を考えている。 ・適切に選択をしている。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				・日々の関わりの中で、その時の子どもの様子を見つつ進めている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			・季節を感じるものや、記念日にちなんだ制作がある。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5			・行事としてはありませんが、外遊びの時に軽く交流したり、夏祭りにお誘いいただくことがある。 ・年に数回保育所との交流はあるが、回数が適正かは不明瞭。	・コロナ以降定期的な交流が難しい場合もあるが、できるだけ交流できるようにしている。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				・入園時に、時間をかけて説明している。	・入園時の説明も必要があれば随時説明をしていく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				・個別に時間をとって、丁寧に説明している。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1			・保護者会の中で、勉強会の時間があり、毎月テーマに沿って園長先生がお話をしていて、とても勉強になる。 ・保護者会の勉強会で知識が深まりありがたい。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				・登園時に子どもの様子を先生から「こんなことがあった」と伝えてもらっている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				・OTや発達相談など、専門の先生に子どもの様子をみて頂き、相談する機会がある。 ・面談でない時でも常日頃より助言支援してくれている。	・必要に応じて、子さ家族支援の面談を行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				・よく寄り添って話を聞いてくださる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12				・定期的な飲み会や保護者会があり、保護者同士で話せる時間はとても貴重だと感じている。 ・保護者会月１回あるので、その時に保護者同士話ができる。	・行事や学校等の長期休暇などにきょうだい参加してもらい、園児や他児のきょうだいとの交流を図っている。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				・先生方が子どもだけでなく保護者の様子もよく見てくださり、いつも気さくに声をかけてくださるため、相談しやすい。 ・相談に乗ってくれている。	・親子登園の際には、いつでも相談できる体制を取っている。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				・文章やLINEなどを通して意志伝達できている。	・LINEなども使っていつでも対応できるように配慮している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12				・そだち園通信や、LINEのアルバム、HPなどを通して、活動の様子などを発信している。	・新たにインスタグラムも活用するようにしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1			・とても気をつかってくださっている。 ・されてると思う。 ・個人的に気にしないけど、〇〇さんが〇〇に住んでる等気にする方もいる。	・職員に厳格なる個人情報の保持に勤めるようにしている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3			・貼り紙などを見たことはあるが、個別に説明を受けたことはない。先生方がよく気をつけている。	・各種マニュアルは所内に掲示していつでも閲覧できるようにしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1			・定期的に避難訓練等がある。	・年間計画を策定し、その中で訓練を行っている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	12				・安全面に配慮して活動している。	・場面場面で、職員の配置を配慮している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				・送迎時や電話等で怪我の状況説明がある。	・事故発生時のマニュアルに沿って対応している。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	12				・安心して通っていると感じる。	・子どもが安心安全の感覚がもてるよう対応している。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				・子どもが安心した様子で先生やお友逞と活動している。 ・とても楽しみにしている様子。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・毎日通うことができて本当にありがたい。今後ともよろしくお願いいたします。 ・はい、満足しています。 ・大変満足しています。いつもありがとうございます。	